

DXによる職員の業務効率化、技術伝承、意識改革

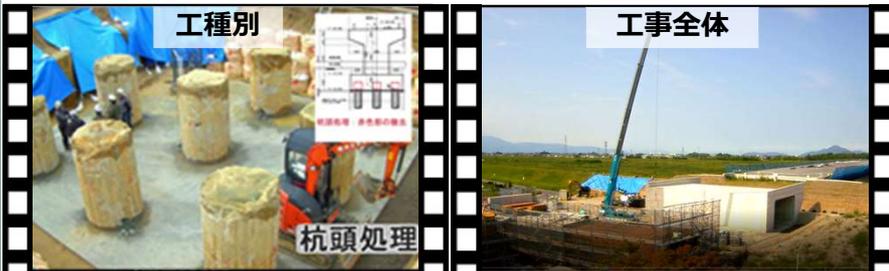
地方公共団体名：滋賀県

◆取組の概要・効果

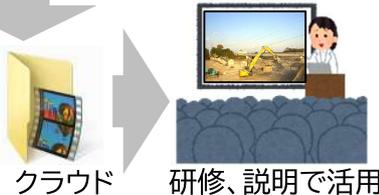
○工事の一連の流れの分かるタイムラプス動画の作成・共有化、遠隔臨場の積極的な推進、効果的な写真撮影・現地調査の省人化の期待できるドローン活用の推進、DXワークショップの開催により、職員自身の業務効率化・職員間の技術伝承、自らの働き方改革に対する意識改革に取り組んだ。

⇒タイムラプスや遠隔臨場、ドローンの活用により、移動時間や協議時間、学習時間が短縮できるだけでなく、「教える側」と「教わる側」が現場の状況や事業内容を同時に共有できることで、技術伝承の場が増えた。また、DXワークショップ開催により職員の業務改善に対する意識向上にもつながった。

タイムラプスの活用



- 工種別動画の収集
例) 排水構造土工、場所杭打ち工
- 工事全体動画
工種別、工事全体の動画を収集・編集しクラウドで共有



遠隔臨場の推進



- ・身近な端末であるスマートフォン、タブレット活用
- ・無料アプリ活用



- ・実施要領や分かりやすいマニュアル類の整備



- ・事務所単位での受注者向け研修

ドローン活用の推進



- ・立命館大学、滋賀県で地方公共団体初の開催
- ・職員、システムベンダー、建機レンタル会社で業務改善を議論

- ・各事務所に2基配備



- ・独自マニュアル作成



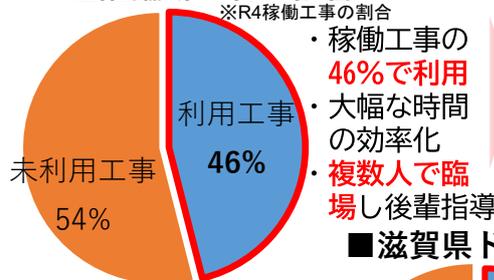
- ・独自操縦訓練によるライセンス付与

■タイムラプス動画アーカイブ化

- ・工種別動画 8工種、11工法
- ・工事全体動画 5工事
- ⇒取得動画を体系化し共有

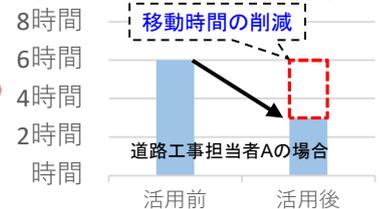


■遠隔臨場の利用割合



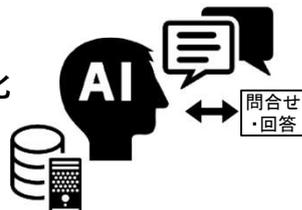
- ・稼働工事の46%で利用
- ・大幅な時間の効率化
- ・複数人で臨場し後輩指導

現場臨場に要する時間

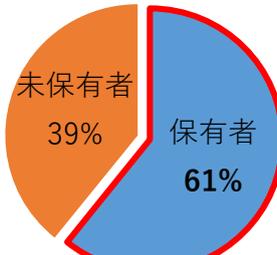


■DXワークショップの成果の具体化

現場職員の問合せ等処理対応時の負担軽減のためのAI活用について大学と連携開始



■滋賀県ドローンライセンス保有率



- ・全土木事務所の係員の6割以上
- ・操縦技術習得し特定の職員に頼らずいつでも活用可
- ・現地調査・状況把握の効率化